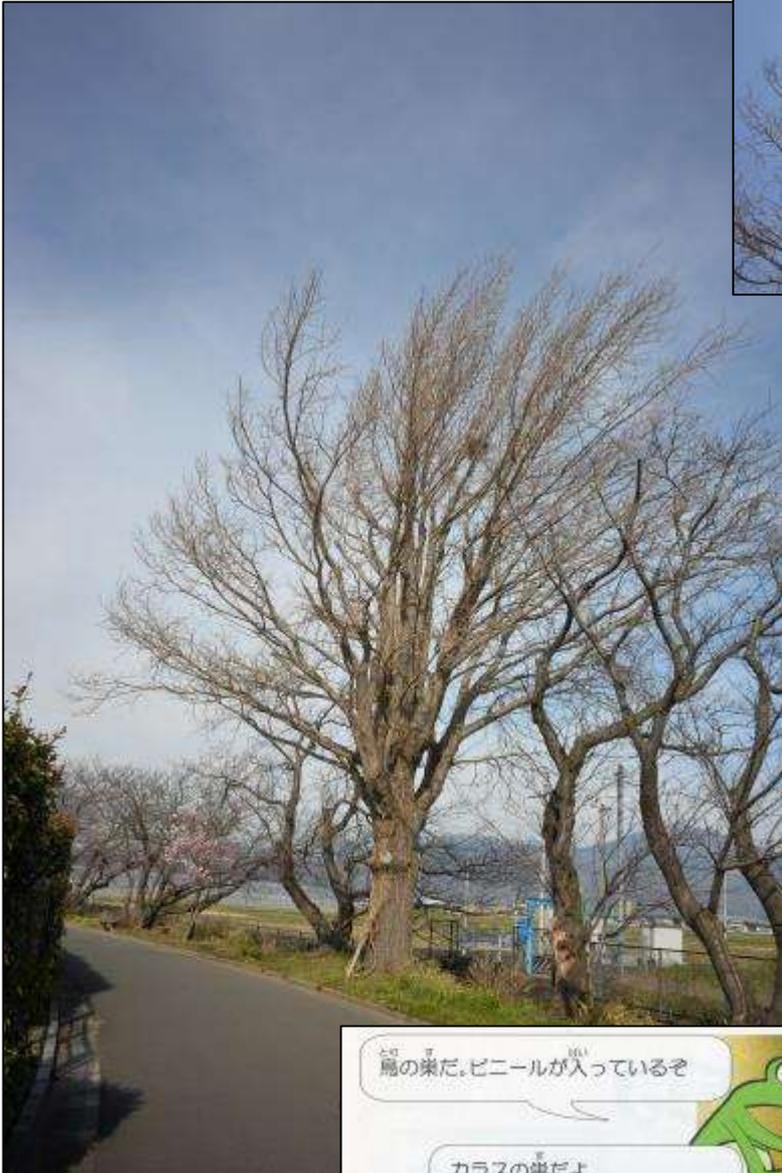


今年も咲きました

3月末のことです。桜には早く、イチョウも緑の葉をつけていません。花菜ガーデンを周回する道路沿いで最も高いイチョウの木にカラスの巣を発見しました。写真にある梢の「かたまり」がカラスの巣です。地上から20mほどの高さでしょうか。カメラには納められませんでした。親と思われるカラスが巣に飛来します。

この道は、ウォーキングで歩く人も多く、ひなが育つ頃、頭を襲うかな。樹上への注意が肝要です。



カラスは小枝や針金ハンガーを集め巣作りの材料にしています。今回はあまりにも高い所の巣です、巣の材料を確かめることはできません。

平塚市博物館にはカラスの巣が展示されています。(下の写真) 中央のくぼみは卵を産みひなを育てる大切なところです。川崎の動物園で、カラスが「ラマ」の綿毛を引き抜き、くわえて飛び去る姿を見ました。巣のくぼみに敷き詰めひなの育つ環境を整備する材料集めと思われる。

平塚市博物館「はくぶつかんたんけん」

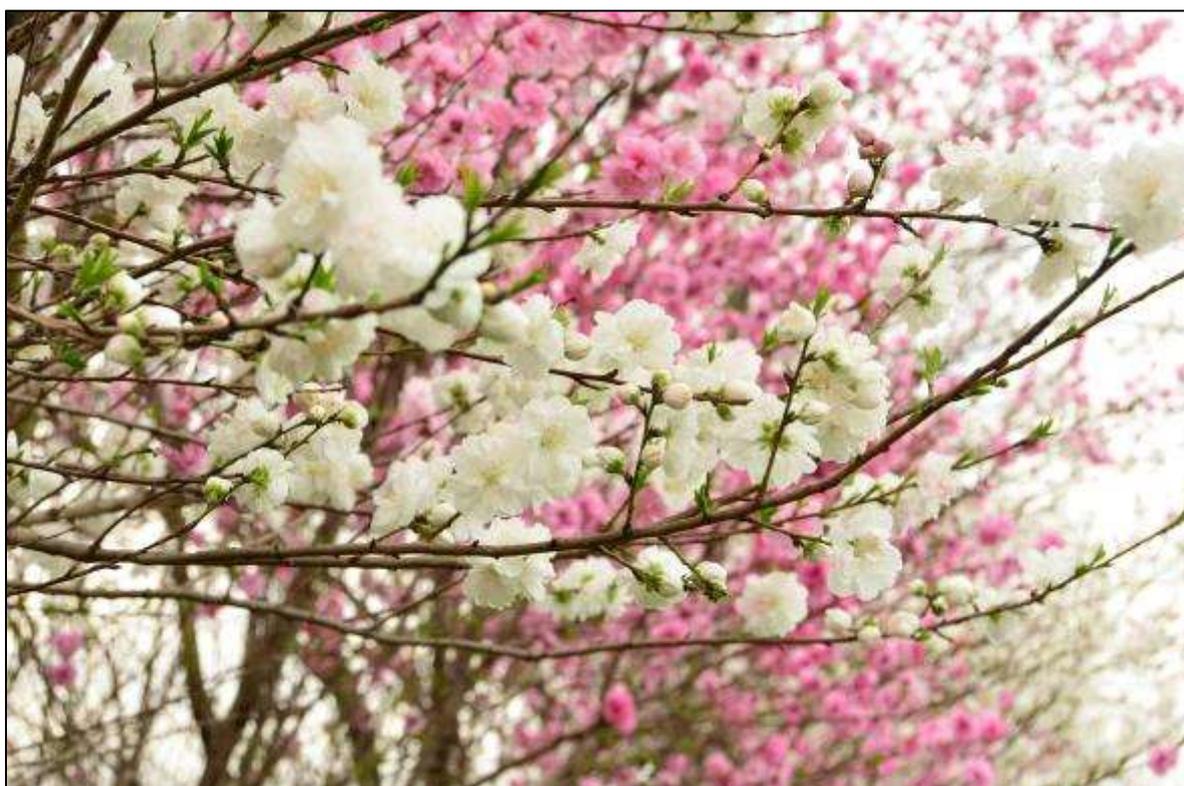




ソメイヨシノにつぼみがまだの頃、早咲きのサクラ、「ハルメキ」が満開です。



春を謳歌している様子に心が和みます。

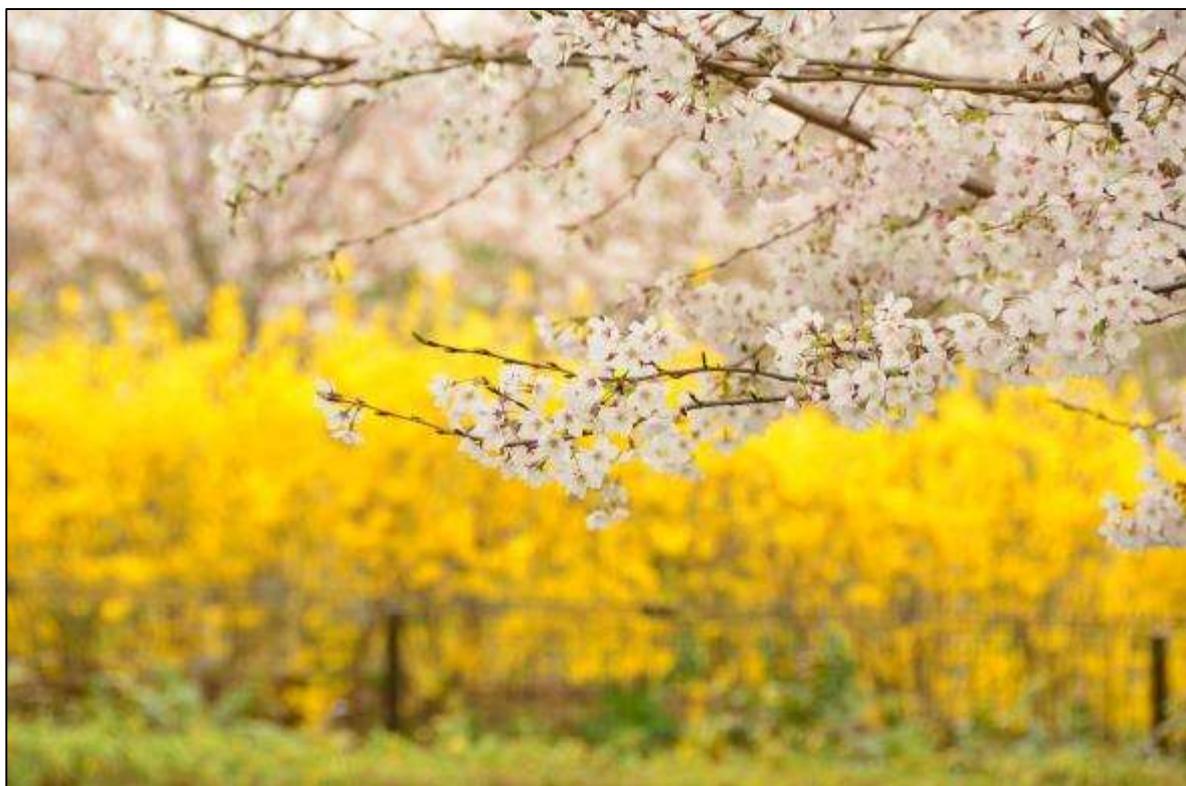


「ハナモモ」も水田の一角でのびのび育ち、満開で見ごろです。



「アブラナ」の群落です。栽培用とも思われませんが、畑のいたるところに黄色の花が広がります。

サクラは満開です。



フェンスの向こうは花菜ガーデン。 サクラとレンギョウが綺麗さを競います。



花菜ガーデンの周回道路です。通行上の事情でサクラの枝が切り取られています。



周回道路と反対の古川排水路側です。枝の剪定はされず、流れを渡り、のびのび、サクラの美しさが写ります。





遮るものなく、自由奔放に枝を伸ばしきり、見事な樹形となっています。  
寺田縄自慢のサクラです。